

ものづくり開発塾 事業概要 説明資料

主催：柏崎技術開発振興協会・新潟工科大学

ものづくり開発塾とは、ものづくりにおける技術開発の基礎を学ぶ技術者育成講座です。1つの技術テーマに対し、技術解説や先進事例を学ぶ知識習得と、実際に設計・製作を行う試作実技の2部で構成される6ヵ月程度のカリキュラムです。技術解説、事例紹介等を新潟工科大学の講師陣をはじめとする専門家が担当します。

この塾は初心者大歓迎であり、決して世界初の新技術を開発するものではありません。専門外と思える分野ほど積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

ものづくり開発塾の基本方針

- 目的：ものづくりに関する研究開発意欲を高める。
重点：研究開発の進め方・考え方を習得する。
技術動向に対する視野を広げる。
とにかく設計・製作してみる
対象：ものづくり事業所の中堅以上の技術者
費用：無料 ※カリキュラムによって一部負担あり
期間：1テーマにつき6ヵ月
※6ヵ月毎に新テーマ・カリキュラムとなります。

◇ものづくり開発塾 全体の流れ

テーマ決定

第1部 知識習得勉強会

- 内容：テーマ説明・技術解説・事例紹介・想定導入例・今後の期待分野など
※テーマによっては先進事例視察なども実施。その際に費用の一部負担の場合あり。
講師：新潟工科大学、カリキュラムに合わせた専門家など
会場：ものづくり活性化センターもしくは新潟工科大学
期間：2週間に1回の頻度で2ヵ月程度
※講座時間はカリキュラムによる。
対象：希望者全員

試作グループ結成

- 結成：2部へ進む際には必ず2事業所以上の者でグループを結成
※カリキュラムの一環としてグループ内の意見集約・調整も重視する。
※1グループに対し1名以上の指導者（新潟工科大学ほか）を選任する。

第2部 試作実技勉強会

- 内容：課題を設定した上でのグループ毎の設計・試作
※発想と設計に重点を置き、コスト目標も設定する。
講師：新潟工科大学ほか
会場：ものづくり活性化センター（原則）
期間：3ヵ月程度
※頻度・時間はグループ内の協議による。
費用：柏崎技術開発振興協会が原則材料費を負担
※試作等に係る人件費などは対象外

試作発表

- 発表：全グループが一堂に会して相互に発表
講師：新潟工科大学ほか
会場：ものづくり活性化センターもしくは新潟工科大学

※上記全体の流れを6ヵ月程度でテーマを変えながら繰り返す。

※第1部終了の段階での脱会は可能ですが、グループ結成後の脱会は不可。

※第2部完了後さらに研究を続けたい場合には、柏崎技術開発振興協会の別メニューでの支援も可。

＜お問い合わせ＞

柏崎技術開発振興協会（ものづくり活性化センター内）Tel 0257-32-2042 Fax 0257-32-2043 E-mail:center@mvc-kashiwazaki.jp